

2026年10月の知っていた方がよい情報（月刊）第62号

1. 【2026年9月の国内新車販売台数について】（前年比プラス表示）

国内新車販売台数は、前年比2.3%増と6カ月連続プラス(433,684台)

順位	ブランド	9月	1～9月累計	順位	ブランド	9月	1～9月累計
1	トヨタ	122,674(2%)	1,128,193(6%)	8	スバル	11,742(▲11%)	78,830(▲9%)
2	スズキ	69,113(▲1%)	551,134(▲1%)	9	レクサス	77,880(0%)	61,965(▲6%)
3	ホンダ	56,161(▲12%)	477,428(0%)	10	いすゞ	7,287(▲8%)	56,076(▲1%)
4	ダイハツ	49,283(1%)	403,161(3%)	11	日野	3,936(35%)	29,494(11%)
5	日産	45,329(18%)	326,316(2%)	12	三菱ふそう	2,923(▲1%)	28,314(21%)
6	マツダ	15,068(11%)	115,872(▲1%)	13	U D	1,209(3%)	9,148(1%)
7	三菱	13,456(21%)	99,443(9%)		総市場計	433,683(1%)	3,545,421(2%)
					13社中8社が前年クリア(62%)		

※コロナ過以降で最も高い水準に回復 ※トヨタが回復をけん引 ※新型車効果(トヨタ、日産、マツダ、ホンダ)

2. 【デンソーとNGKの昨年からの事業譲渡を中止しました】

- ①スパークプラグ、排気センサー事業をデンソー側から解約を申し入れ合意した
- ②理由として電動化が進む一方でエンジン車の需要が当初より継続する事を踏まえ決定した

3. 【日産「キックス」売り上げ好調の実力は】

- ①最新ハイブリットシステムとして「第3世代 e パワー」《日産は発電専用エンジンで電池を充電しモーターで駆動する方式を取っている》
- ②第2世代の弱点は高速走行時の燃費であったが約15%向上した
- ③更なるデータとして東京～盛岡の高速道路を含め往復1100K で検証し、(燃費重視走行はせず) 17.5K であった
- ④操縦性は直進安定性が良く「走る、止まる、曲がる」は大きく進化して爽快と言えるレベルだが都内の渋滞ではエネルギーの残量が減ると大きく気になるレベルではないが、急にエンジン音がして振動も感じた 運転支援機能も付き約400万円の価格



